

末田会長勇退

薬師が丘

薬師が丘と歩んだ三十年

末田連合町内会長が勇退されることになりました。末田会長は昭和五十一年三十九歳のときに薬師が丘に居をかまえられ、爾来子ども会の世話や四丁目町内会長に就任されたのを皮切りに、今日まで薬師が丘とともに歩んでこられました。薬師が丘とともに歩んだ半生だったといっても過言ではありません。

末田会長が初めて連合町内会長に就任された平成元年は、薬師が丘が諸先輩たちの努力で創成期を終え成長期に入ったころでした。益踊り大会や秋祭りはすでに行われており、ソフトボール同好会は活動を始めていました。末田会長の在任中



にソフトバレー同好会やテニス、ゴルフ、社交ダンス、囲碁、ハイキング同好会などが誕生し、薬師が丘が今日の姿を整えてきた頃です。また、団地新聞が創刊されたのもこの頃です。九百戸に満たなかった戸数が千戸を超えた半面、子どもの数が減少をはじめ、三グループあった子ども会がひとつになり、最終的には連合町内会が子どもたちの活動をサポートするようになり

ました。居住戸数が増加し第二集会所も建設されましたが、トーションクが閉店し、薬師が丘の町づくりには大きな影を落としました。このように末田会長在任中の薬師が丘をふり返ってみると、薬師が丘の光と影の部分を見ながら薬師が丘とともに歩まれた三十年だったといえそうです。

末田会長は就任以来一貫して住民同士のふれあいを大切にされてきました。中規模団地で公的なものは何も無い薬師が丘の町づくりを進めるためには、住人同士がふれあい、そこに生まれるパワーを生かす以外に方法がないと考えられたからです。その思いは多くの人の共感を得て、いろいろな町内会活動が活発な団地に育ち、

発行
薬師が丘連合町内会
広報委員会
発行人
薬師が丘連合町内会
会長・末田敏昭
編集責任者
薬師が丘連合町内会
広報部長
河原忠司



この餅つき大会への参加者は年々増えており、今年も過去最高の参加者だったようです。ピーク時にはホールテーブルに座ることが出来なくて、戸外で食べている人も見られました。祖父の世代から孫の

餅つき大会開かれる

今では近隣の人からお褒めのことばを頂くまでになっているのは、ご案内の通りです。薬師が丘とともに歩かれた末田会長の思い

このイベントは町内会の予算と住民の皆さんの差し入れなどによって運営されていますが、これだけ多くの人に楽しんで頂いている状況を見ると、予算措置を再検討してより多くの人に来ていただけるイベントに育てる必要があるように思われます。

は次の世代に受け継がれることになりませんが、この良き伝統は失われることは無いはず。です。

町内会を通じて行いました連合町内会長公募の結果、自薦者はなく他薦者が二名でした。このうち一名は硬く固辞されましたので、残る一名について四月十日に行われる予定の総会に図り最終決定される予定です。

会長公募の結果

当日会場でお手伝いされた人、差し入れをしてイベントを盛り上げて頂いた皆様にご場を借りてお礼申し上げます。



それとともに、来場者の増加にともない当日の安全対策についても万全を期す必要があることも見えてきました。これらのことを検討してこのイベントがますます発展することを願っています。

末田会長にインタビュー

勇退される末田会長に編集子が突撃インタビューを試み、三十年にもおよび役員生活の思い出を語っていただきました。以下はその記録です。

「まず薬師が丘の町内会活動にかかわるようになったいきさつをお聞かせください」

私は甲子園には行けませんでしたが高校球児でした。昭和五十一年に薬師が丘に住み始めて間もない頃、子ども会の水野会長から子どもたちの面倒を見てくれと頼まれ、自分の得意分野である球技の面倒を見始めました。その姿を見られていたのでしよう、四丁目の町内会長に推されたのが、

「四丁目の町内会長を受けられたきっかけがありましたか」

そこに至る伏線はありません。昭和五十一年に三十九歳のとき薬師が丘に住み始めました。当時は住む人も少なかったのですが、詳しいいきさつは忘れませんが、早々に管理組合の理事に推され、それを受けたことが当時広島市との合併をめぐる議論されていた町議に議員として立候補し当選させていただきました。その御礼の意もあつて四丁目の町内会長を受けたわけです。

「連合町内会とのかわりは？」

当時から薬師が丘には六町内会があり、六名の町内会長がいました。当時はその六町内会長の互選で連合町内会長を決めるようになっていました。私は四丁目の町内会長を三年したのですが、他の町内会長さんは一年で辞められたので、わずか三年でも私が古株になり、連合町内会長に推されたわけです。そのときは一年で退任しました。

「最初に副会長をされましたね」

はい、その頃から連合町内会長は単位町内会長の互選ではなく専任にするようになりました。平成二年に三浦

連合町内会長が専任の会長として選ばれ、そのとき三浦会長に推されて副会長を受けることになったわけです。「会長としての経歴を拝見すると十年程度を二回されていますが何か意味があるのですか」

会長を受けるにあたり私には私なりの思いがありました。薬師が丘をこのような町にしたいという願望もありました。そうした思いがある程度かたちになったことを実感するまでに十年程度の時間が必要であったということでしょうか。

「その思いとは」

薬師が丘は戸数千戸程度の中規模団地です。から、大規模団地のように学校もなければ公民館もありません。そのように公的なものが何も無いところで町づくりを進めるためには人の和が大切だと思っております。それしかないともいえます。

「その和をつくる対策は？」

いろいろな行事を通じて住民同士がふれあうところから人と人の和が生まれてきます。諸先輩方の努力で盆踊りや秋祭りが始まっ

ていました。また、同好会としては私が音頭をとるかたちでソフトボール同好会やゴルフ同好会が生まれ、他にも私の任中にソフトバレー部やテニス同好会など多くの同好会が誕生しました。また、婦人会、はなみずき会、

「編集子も薬師が丘は行事の多い団地だと感じていますか」

仰るとおりで私もそのように感じています。また八幡学区など

「在任中にはいろいろなことがありましたね」

はい、いろいろなこととがありました。その中では一丁目の第二集会所の建設のことが印象に残っています。このときは苦労しましたが、いまとなってはいい思い出になっています。

また個人的なことかも分かりませんが、山口事務局長を亡くしたことはショックで本当に泣いてしまいました。大切な片腕をなくした思いが強く、その頃から連合町内会長を

辞すことが頭に浮かぶようになりました。「三十年にも及ぶ役員人生を振り返っての感想は？」

多くの人と知合いになれました。これは私の財産になっていきます。多くの人たちと協力して町づくりが出来たことに感謝しています。

「最後に広報部にひと

言お願いしたいのですか」

団地新聞は町内のふれあい作りにとっても大切なものだと考えています。最近は広報の会議に出席する人が少なくなっていますが、多くの人に参加してもらい団地の広報活動を盛り上げてもらいたいと考えています。また、出来上がった新聞を保

退任のことば

連合町内会長 末田敏昭

この度薬師が丘連合町内会長を退任することになりました。

ふれ合いが必要になります。行事を通してふれ合いが出来ればと思っております。

間頑張られたのは連合町内会の役員諸氏、町内会長や団地の皆様の協力があったからだと思っております。在任中に皆様から頂いたご協力とご支援に心から感謝しています。

地域活動は理想的には横型社会であるべきで主役の住民が中心となり発言し行動し町づくりを構築することが望ましいでしょう。又生活するために「食」が必要であり高齢化にともない「食」について考え検討する必要があると感じています。

私が在任中気を付けて活動したこと

必要であり高齢化にともない「食」について考え検討する必要があると感じています。

は、会話を通して人と人との和を大切に笑顔で挨拶が出来る

薬師が丘の町づくりです。今後ますます高齢化が進みます。

薬師が丘の町づくり

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

笑顔で挨拶が出来る

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

薬師が丘の町づくり

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

笑顔で挨拶が出来る

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

薬師が丘の町づくり

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

笑顔で挨拶が出来る

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

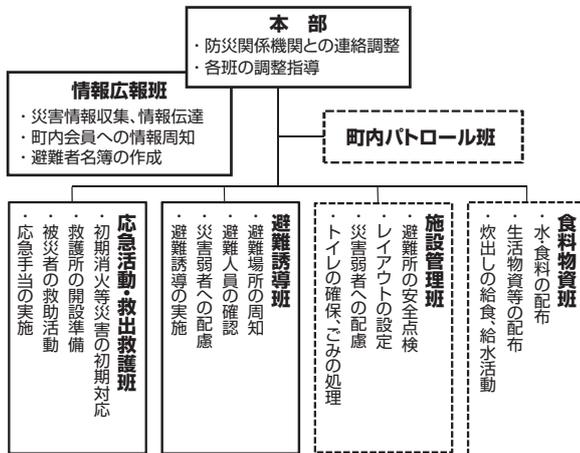
薬師が丘の町づくり

生協による移動店舗（毎週月曜日）を行っております。薬師

防災～もしもの時は

あってほしくないのが自然災害ですが、八木地区の土石流災害を見るように、自然災害が少ないとされていた広島も例外ではなくなっています。防災は自助、共助、公助と言われますが、消防などの公助が来るまでは私たちの町は私たちが守らないといけません。もしものときの情報の流れを確認しその時にそなえましょう。

自主防災会組織と役割



※実線は、災害発生直後に活動する組織です。点線の班は、避難場所での活動になります。

災害時の情報伝達経路



土砂災害への対応

土砂災害 避難のタイミング (避難情報に応じた避難行動)

避難情報区分	実施時期	住民の避難行動	伝達方法
1 注意喚起 (自主避難呼びかけ) <大雨警報発表時>	災害が発生するおそれがあり、注意喚起するとき。	・テレビ・ラジオ等を通じて雨量等の情報に注意する。 ・いつでも避難できるように準備する。 ・危険を感じた場合は、一時避難所に、自主避難する。	・市防災行政無線 ・市防災情報メール ・市ホームページ
2 避難準備情報 <警戒基準雨量到達時>	災害が発生するおそれがあり、避難の準備を促すとき。	・避難の準備を行う。 ・要配慮者、援助者は避難行動を開始する。 ・状況に応じ一時避難所に自主避難する。	・市防災行政無線 ・市防災情報メール ・市ホームページ
3 避難勧告 <避難基準雨量到達時>	災害が発生するおそれがあり、避難を促すとき。	・直ちに避難する。	・口頭又は広報車 ・市防災行政無線 ・市防災情報メール ・市ホームページ ・テレビ・ラジオ等の放送施設
4 避難指示 <大雨特別警報発表時>	上記より状況がさらに悪化し避難すべき時期が切迫したとき。		

広島市ホームページ 土砂災害への対応・避難勧告についてをもとに作成

第一集会所

	項目	現状
屋根	陸屋根	漏水
	木造床	反り・はがれ
内部	湯沸室、便所の天井	塗装の浮き
	壁塗装	汚れ・浮き・はがれ

第二集会所

	項目	現状
屋根	葺き材	防水性能の低下、汚れ
外壁	外装材	反り・はがれ
	塗装	チョーキング
	シーリング	硬化・肌離れ

薬師が丘団地土砂災害危険箇所点検

平成二十七年十月五日に土砂災害の危険箇所点検が行われました。当日は佐伯区役所から維持管理課の栗栖さんら五名、薬師が丘から末田会長、山本防犯犯部長ら六名が参加しました。

十一月二十六日に次のような点検結果を区役所から頂きました。その中でお知らせします。●民有地は土砂災害の行

政として防災工事は難しい。●薬師が丘団地は、他の土砂災害地域に比べあまり危険性が少ない。点検した四丁目北側、三丁目東側三ヶ所の法面は、市所有地で公園緑地扱いになっている。たちまち問題はないと思われる。何当面様子を見る。何らかの状況が現れ、連絡してもらえば検討する。

集会所の現状

昭和五十四年に建設された第一集会所ももちろん第二集会所も経年変化で劣化が進んでいます。

連合町内会で点検した結果を報告します。第一集会所は平成二十一年に金属屋根、外壁の塗装を実施したが最近外壁の浮きはがれがみられ漏水が起きている。第二集会所は平成九年竣工後畳替え・ふすま張りなど内部の補修

をしたが外部は竣工後そのままになっており、屋根の防水性能が低下している。主な不良ヶ所を左表にまとめました。ここでみるように竣工後時間が経過した両集会所は、維持管理のために抜本的な対策を検討する時期に来ているようです。

薬師が丘の歩み～成長期

昭和51年に居住が始まった薬師が丘は諸先輩方の献身的な努力により徐々に町らしい姿を見せるようになりました。その創成期のことは前号で紹介しましたが、今回は昭和から平成へ、薬師が丘が現在の姿を整えた成長期のことを薬師が丘新聞の記事を元に見てゆきます。

町内会活動の台頭

昭和から平成にかけて町内会活動はますます盛んになり、同好会の誕生も続きました。そこで培われた人の和が町づくりの大きな力になりました。

あざみ会の誕生

広報四号より

昭和五十五年初代連合町内会長の星野さんから薬師が丘にも婦人会をつくってはどうかという話が持ち上がり、藤野さん他有志の方々の協力で親睦を旨とした婦人会が発足しました。会員数も二百名余に暫増し、趣味、教養、福祉と特徴ある発展するとともに、外郭団体との連携も保ち、佐伯郡婦人連合会、五日市教育委員会に加え、また通商産業省の行政指導に協力等幅広い活動が出来るまでになりました。昭和六十年に五日市町が広島市に合併したのを機に、薬師が丘婦人会は広島県婦人連合会に所属することになりました。

その後婦人会は小学校を中心編成替えとなつて、八幡小学校区の八幡婦人会に合流することが決定していた矢先、八幡婦人会が解散となつたので、薬師

(中略)

その後昭和六十年に多数の会員の自発的な盛り上がりにより新たに婦人会活動を展開し、佐伯区社会福祉公認のあざみ会が誕生しました。

長寿会の誕生

昭和五十六年十二月頃当時の町内会長、末田敏昭、川島和俊両氏の呼びかけにより、薬師が丘にもほつぽつ老人会をつくってはどうかという話もちあがり、各町内会長の推薦によつて数名の仲間が集会所で会合、両氏のお骨折りで他地区老人会の会則などの参考資料を集め、長寿会発足に向けての準備会を持ちました。その後不備な物ながら会則等も出来上がり、翌昭和五十七年一月二十三日に薬師が丘長寿会の発足総会を開く運びに

なつたと記憶していません。

(長寿会庶務・渡辺登) 広報五号から

広報誌の誕生

平成三年七月当時の三浦連合町内会長が広報委員会を開き、各種団体の方々との協議検討した結果広報紙を発行することが決まりました。発行の責任者である広報委員長は二丁目北の久次武志氏。編集のプロを責任者に迎え広報誌の発行は順調にスタートしました。しかし、発行の責任を負われた久次氏はどんな内容の団地新聞を出せば団地住民のコミュニティ形成に役立つのか、多様な住民意識の共通項を紙面の中で引き出せるか、ハードよりソフト面の課題にどのように対応するか腐心されたようです。「こうした機会を通じて、人と人との有機的な和やかなつながりが深められ『明るく楽しい町づくり』に貢献できればと思います。情報の伝達と交換こそ現代社会になくてはならない大切なことだと

思っています。」

当時の三浦正夫連合町内会長が団地新聞「薬師が丘」に寄せられたこのことばは、その後の広報紙づくりの基本理念となり今日ひき継がれています。

同好会は団地の潤滑油

ワンゲル薬師会長 河原忠司

昭和から平成にかわるころ薬師が丘にはいるいるな同好会が誕生しました。ソフトボール同好会など居住開始早々に誕生した同好会もありますが、多くはこの時期に誕生しました。山歩きを目的としたワンゲル薬師もそのひとつです。

二丁目北町内会の親睦行事を機に誕生したワンゲル薬師は今日まで二十年余の活動を通して多くの仲間を得、その仲間たちが山歩きだけでなく、町内会活動など薬師が丘の町づくりに活躍するようになりなりました。

同好会の活動はそれぞれの趣味を通して友だち関係を広げることによりありますが、そこで得られた人間関係が地域活動の潤滑油の役目を果たすことは間違い

成長期に誕生した同好会

名称	発足	備考
1 ソフトバレーボール同好会	平成元年 9月	バレーボールを体力的な理由で卒業した人がもう一度やってみたく
2 ソフトボール同好会	昭和 55年	薬師が丘で大会が開かれ参加者が家族ぐるみで盛り上がったのがきっかけ
3 薬師が丘ゴルフ同好会	平成元年 10月	愛好者の声が集まって結成、平成3年には7回目のコンペを開く
4 薬師が丘テニス同好会	平成元年 9月	練習場所の確保に苦労したが城中の厚意で解決、平成4年には二十数名で活動
5 社交ダンス同好会	平成2年	心身の健康保持と若さの保持を目的に平成2年に誕生
6 3B体操同好会	平成元年	五日市コープ3B体操教室に通っていた末田さん、福岡さんの働きかけで誕生
7 ワンゲル薬師	平成7年 8月	2丁目北町内会のハイキングに参加した人たちが健康保持のために集まって結成
8 グランドゴルフ同好会	平成8年 12月	会員数二十数名で長寿会の活動と分離するかたちで結成
9 薬師が丘囲碁同好会	平成7年 2月	薬師が丘に友好の場を持つために4名で発足、1年後17名になる
10 広島華彫グループ	平成元年	漆塗りが美しい岡山の鳥城彫を会員と友愛を深めながら習っている
11 太極拳	平成7年頃	誰もが出来るゆったりとした動きの運動が健康に良いことに惹かれ同行者が集まる

ありません。広島市の広報紙「市民と市政」が行ったアンケートでは「地域のことですみ続けるために、あなたが必要としているものは何か」という問いに63・6%の人が「近所同士のつながり」と答えています。薬師が丘を終の棲家として生活している私たちも同じ気持ちだと思いますが、地域社会に踏み出すにはチョツと心理的な抵抗があることも事実です。その抵抗を少なくしてくれるのが同好会に参加することです。同好の土との話には花が咲き、そこで親しい人とのつながりを得ることが出来ます。地域社会にレビュアしたい人は同好会の門をたたきましょう。小さなその一歩があなたの人生を変えることになりすよ。

成長のかげで

平成のはじめ薬師が丘は戸数950戸の団地に成長しました。しかし、戸数の増加とは別に子ども数は減少し、また、トーションョクが閉店するなど成長にともなう影の部分も見えてきました。

トーションョクの閉店

平成六年に十五年のあいだ薬師が丘で営業されていたトーションョクが閉店しました。

昭和五十四年（六十一年頃までは商品も順調に回転していたが、デイスカウント大型店の進出や販売方法が時代に合わなくなり売り上げが低下、パパート不足から祭日を休業にしたことで経営効率の悪化そのうえ店舗設備の老朽かもあって店舗販売による営業を中止するに至った（トーションョク専務）

トーションョク閉店の情報は事前に連合町内会に寄せられ、末田連合会長を中心に対応策が検討されましたが、婦人会（あざみ会）など住民側の動きもイマイチ悪く閉店への動きを止めることができませんでした。広報九号には広報部で取材した町

の声が次のように紹介されています。

●皆でもっと売り上げに協力すればよかったです。

●団地が廃れるようになっても寂しい。

●勤めているので閉店時間に間に合わず、日曜日が休みなので利用できなかった。

●私は年寄りなので近くで買物が出来なくなり残念、どうしようかと思う。

●協力しないのは悪かったが、商品が新鮮でなかったので仕方ない。

●時間がたった商品はタイムセールにかけるとか売り方を工夫して欲しかった。

●団地の住民が月に何度かトーションョクで買い物をする日を決めれば良かった。

●団地の住民のふれあいの場所であったトーションョクがなくなるのはとても寂しい。

●右のような「町の声」をみると、トーションョクの閉店には業者側と住民側双方にクリアできなかった問題があったことが見えてきます。

シヨクの閉店には業者側と住民側双方にクリアできなかった問題がありました。

当時よりも高齢化してしまつた薬師が丘で今も営業されている個人商店もありますし、また毎週月曜日の生協の移動店舗、毎月第四土曜日の鮮魚販売そして運行便数が減少している広電バス、それらにどのように向き合うかを考えるとき、トーションョクが閉店に至つた経緯をあらためて検証してみるのは自分たち町、薬師が丘の生活環境を守るためにも大切なことだと編集子は考えるのですが、皆さまはいかがお考えでしょうか？

子どもの数の減少

昭和五十一年に居住が始まつた薬師が丘はその後順調に入居者が増えました。入居者は子ども会加入年齢の子どもを持つ三十代から四十代の人が主流だったはずですが、そのための昭和六十二年には子どもの数が三百四十六名になり、子ども会は三

グループになっていました。

しかし、その後入居者の数が微増に転じ、一方子どもたちは成長して子ども会を去つたため、子どもたちの数は急速に減少してゆき、居住開始二十周年の平成八年にはピーク時の四十二%になりました。子どもの減少はその後も続き、子ども会の活動が子ども会だけで出来なくなり、連合町内会に育成部をつくることになっていきました。

それに反比例するようになり、この時期に高齢者の増加が目立つようになり、子ども会の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。

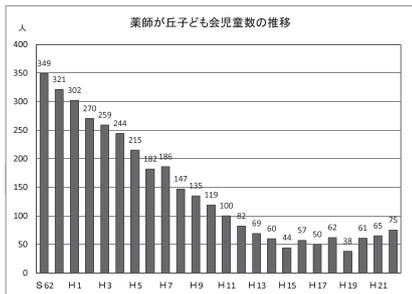
薬師が丘の発展期は子どもの数の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。

薬師が丘の発展期は子どもの数の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。

薬師が丘の発展期は子どもの数の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。

薬師が丘の発展期は子どもの数の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。

薬師が丘の発展期は子どもの数の減少と高齢者の増加という、今まで続く課題の始まつた時期とも言えます。



薬師が丘町内会発足二十周年記念式典

平成八年五月十二日に薬師が丘町内会発足二十周年記念の祝賀の式典が、歴代の会長はじめ町内会員二百余名が参加して第一集会所で行われました。あわせて集会所の敷地に記念碑を建て、広島県の木であるモミジの植樹も行われました。

また、第四公園では町内会対抗綱引き大会が、一般、子ども、男女各五名、計二十名の混成チームで争われ三丁目南が優勝しました。

二丁目北の清水好夫翁が百歳のときの詠まれた「丘に住み瀬戸の初日をほしいます」の句は、この町に住む人々に受け継がれています。

このように二十周年の行事は成功裏に終わりました。

振り返りますと居住開始当時は家がポツン、ポツンと点在し、狐や狸が行きかう寂しい団地でしたが、二十年后には九八六戸の住宅が建ち、整然とした静かな住宅地に成長しました。

何もない丘が造成されて町になり、そこに住み始めた人たちが町内会を結成し、その人たちの献身的な努力によって、明るくて住みよい町をつくられた伝統はいまに生きており、その精神が薬師が丘のベースになっているように思います。

20年の歩み

昭和51年	団地への入居開始	第1号 徳田さん
昭和52年	町内会発足	6町内会 初代会長に三隅英夫氏
昭和53年	施設管理組合発足	会長に藤野高司氏
昭和54年	アートフラワー教室発足	秋祭り子ども神輿はじまる
昭和55年	第1回盆踊り大会開催される	第4公園脇に集会所新設される
昭和56年	第1回ソフトボール大会開催される	婦人会発足・ソフトボール同好会発足
昭和57年	初代連合会長に星野 寿氏	トーションョク閉店
昭和58年	和太鼓を購入する	1229区画のうち601戸が入居
昭和59年	長寿会発足	1丁目町内会でおとな神輿はじまる(手づくり)
昭和60年	子ども会会員400名に達しABCの3ブロック制に	婦人会解散・あざみ会に名称変更
昭和61年	第1回八幡学区市民運動会開催	1229区画のうち863戸が入居
平成1年	ソフトバレー・テニス・ゴルフ・3B体操の各同好会発足	
平成2年	社交ダンス同好会発足	
平成3年	町名変更	広報紙「薬師が丘」第1号発行
平成5年	2丁目清水好夫さん満100歳を祝う	
平成6年	トーションョク閉店	
平成7年	ワンゲル薬師発足・囲碁同好会復活	子ども会会員150名に減少2ブロック制に
平成8年	町内会発足20周年式典開催	記念植樹・町内対抗綱引き大会開催
	公共下水道つながる	4月末現在986戸 入居率80%